

參考業務

木寺清一著

# 参 考 業 務

*Reference / Information Service* 概説

木 寺 清 一 著

---

最新図書館学シリーズ

---

東 京  
学 校 図 書 株 式 会 社  
1972

## 著者略歴

木寺清一 (Seichi Kitera) 1908年生

大阪市立大、関西大学、京都大学、上海自然科学研究所、大阪大学、  
大阪府立、の各図書館、国立図書館短期大学教授を経て、現在、常磐  
学園短期大学教授

著書—図書館経営実務入門 (京都出版)、簡易図書記号法 (綜文館)、  
図書館奉仕 (日本図書館協会)、図書整理法 (蘭書房)、レフ  
ァレンス手引 (日本図書館研究会)、本の歴史と使い方 (内  
田老鶴圃)、図書整理法 改訂版 (青山書店)、洋書目録法概  
説 (明治書院)、図書館資料概説 (明治書院)、洋書事典 (明  
治書院)、図書整理法 新訂版 (学校図書)  
翻訳—世界を変えた本 (ダウンス著、荒地出版)

## 最新図書館学シリーズ

### 参考業務

¥ 1,600

昭和 47 年 7 月 1 日 初版発行  
昭和 50 年 7 月 1 日 第2刷発行  
昭和 53 年 4 月 1 日 第3刷発行

著者との申  
し合わせに  
よって検印  
を略します

© 著者 木寺清一

発行者 峰岸辰三

印刷所 株式会社昭和工業写真印刷所

発行所 学校図書株式会社

東京都品川区北品川一丁目1番14号  
郵便番号 140番  
電話 東京 (03)472局 2811代  
振替口座 東京 8-72415番

3300-360053-1038

## 序

今日人が人に向かって述べ、語るに際しては、確乎たる典拠に基づき、あるいは数字または図表等をもってこれを数量的に示すのでなければ、その信憑性をかち得ない。まして文章をもって、論文、報告、著書等にする場合はなおさらである。そしてそのことは、学問のことに携わる人たちばかりではなく、市井の一般人にとっても同様である。

およそ好まれるはずの“本”を収集・整理・保存して、これを貸し与えることのみに終始した“図書館”の存在は、徐々に過去のものになりつつある。大学図書館における divisional plan、公共図書館における subject-departmentalization の出現は、その大勢をもの語るものであり、利用者の要求によりよく対応しようとする姿勢の現われである。すなわち reference/information service をより合理的に行なおうとする構えである。

この reference work または reference service を“参考事務”、ついで“参考業務”として、わが国で語られはじめたのはきわめて最近のことである。その発展もしたがってきわめて若い。図書館短期大学開設以来、著者はそこでの“レファレンス・ワーク”の講義とその演習を担当してきたが、本書はその大綱を文章にしたまでのことである。講義は英文のプリントに基づいて行なってきた。本書中にもそのプリントの大半をとり入れた。このことについては、わが国におけるよりもはるかに先輩である諸外国の専門家の言説と経験は進んで取り入れるべきであると考えたからである。

しかし、諸外国においてだけでなく、わが国にあって、図書館学、あるいはその業務の全般は、ことに近年急速に進展しつつある。その進展に立ち向かうために、現時点における、そして今日までの進歩の実状につい

ての認識は必要であろう。その点で本書が幾分でも役立ち得れば幸いである。付録に著者の旧著“レファレンス手引”の一部を収録したのもその意味においてである。

1972年4月

著 者

## 凡 例

1. 本主題関係の参考文献書目は手もとにあるものの中から選んで、巻頭に一括してあげた。雑誌論文は割愛した。
2. 引用文献は当該ページ下端に脚注の形で入れたが、巻頭の“参考書目”に収録ずみのものについては著者名とページ数だけを、同一著者に2著以上あるものについては著者名、書名、ページ数を、それぞれしるすに留めた。よってそれらのフルな記述は“参考書目”について見られたい。
3. 自明の事実または手近な文献のいずれにも記載されているような事項については、一々その典拠を示さなかった。
4. 外国語に基づく日本語の訳語または成語にはその原語を付記した。

## 参 考 書 目

- Ashworth, Wilfred, ed.: Handbook of special librarianship and information work. 3d ed. London, Aslib, 1967.
- Astall, Roland: Special libraries and information bureaux; an examination guidebook. London, Bingley, 1966.
- Barton, Mary Neil, comp.: Reference books; a brief guide for students and other users of the library. 3d ed. Baltimore, Enoch Pratt Free Library, 1954.
- Butler, Pierce, ed.: The reference function of the library; papers presented before the Library Institute at the University of Chicago, June 29 to July 10, 1942. Chicago, Univ. of Chicago Press, c1943. (The University of Chicago studies in library science)
- Chandler, G.: How to find out; a guide to sources of information for all. 2d ed. London, Pergamon Press, 1966.
- : Libraries in the modern world. London, Pergamon Press, 1965.
- Clapp, Verner W.: The future of the research library. Urbana, Univ. of Illinois Press, 1964.
- Collison, Robert L.: Library assistance to readers. 4th ed. London, Lockwood, 1963.
- Downs, Robert B.: How to do library research. Urbana, Univ. of Illinois Press, 1966.
- Enoch Pratt Free Library, Baltimore: General Reference Department staff manual, prepared by Mary N. Barton and Ellen F. Watson. Baltimore, 1950.
- Foskett, A. C.: The subject approach to information. London, Bingley, c1969.
- Foskett, D. J.: Information service in libraries. London, Lockwood, 1961. (Crosby Lockwoods' new librarianship series, 4)
- Foskett, D. J., A. de Reuck and H. Coblans, ed.: Library system and

- information services; proceedings of the second Anglo-Czech conference of information specialists. London, Lockwood, c1970.
- Galín, Saul and Peter Spielberg: Reference books; how to select and use them. New York, Random House, c1969.
- Galvin, Thomas J.: Current problems in reference service. New York, Bowker, 1971.
- : Problems in reference service; case studies in method and policy. New York, Bowker, 1965.
- Goggin, Margaret Knox, ed.: Current trends in reference services. (Library Trends, January, 1964)
- Grogan, Denis: Case studies in reference work. London, Bingley, 1967.
- Heilprin, L. B., ed.: Proceedings of the symposium on education for information science. London, Macmillan, 1965.
- Hutchins, Margaret: Introduction to reference work. Chicago, ALA, 1944.
- Illinois, University. Library School: The library as a community information center; papers presented at an institute conducted by the University of Illinois Library School, Sept. 29-Oct. 2, 1957. Champaign, Ill., distr. by Illini Union Bookstore, 1959. (Allerton Park Institute, no. 4)
- Katz, William A.: Introduction to reference work. New York, McGraw-Hill, c1969.
- vol. 1: Basic information sources.
- vol. 2: Reference services.
- Kochen, Manfred: Some problems in information science. New York, Scarecrow, 1965.
- Licklider, J. C. R.: Libraries of the future. Cambridge, Mass., M. I. T. Press, c1965.
- Linderman, Winifred B., ed.: The present status and future prospects of reference/information service; proceedings of the conference held at the School of Library Service, Columbia University, March 30-April 1, 1966, under the sponsorship of Columbia University, School of Library Service and American Library

- Association, Reference Services Division. Chicago, ALA, 1967.
- Needham, C. D.: Organizing knowledge in libraries; an introduction to information retrieval. 2d rev. ed. London, A. Deutsch, 1971.
- Overington, Michael A.: The subject departmentalized public library. London, Library Association, 1969.
- Ranganathan, S. R.: Reference service. 2d ed. Bombay, Asia Publ. House, 1961.
- Rothstein, Samuel: The development of reference services through academic traditions, public library practice and special librarianship. Chicago, ACRL, 1955. (ACRL monographs, no. 14)
- Rowland, Arthur Ray, ed.: Reference services. Hamden, Co., Shoe String, 1964. (Contributions to library literature, no. 5)
- Saunders, W. L., ed.: Provision and use of library and documentation services; some contributions from the University of Sheffield Postgraduate School of Librarianship. London, Pergamon Press, 1966.
- Shores, Louis: Basic reference books; an introduction to the evaluation, study, and use of reference materials with special emphasis on some 300 titles. 2d ed. Chicago, ALA, 1939.
- : Basic reference sources; an introduction to materials and methods. Chicago, ALA, 1954.
- Wheeler, Joseph L. and Alfred Morton Githens: The American public library building; its planning and design with special reference to its administration and service. Chicago, ALA, c1941.
- Wilson, T. D. and J. Stephenson: Dissemination of information; an examination guide. London, Bingley, 1966.
- Wyer, James I.: Reference work; a textbook for students of library work and librarians. Chicago, ALA, 1930.
- Wyner, B. S.: Introduction to bibliography and reference work; a guide to materials and sources. 4th rev. ed. Rochester, Libraries Unlimited, Inc., 1967.

長沢雅男 参考調査法 理想社, 昭和 44.( 現代図書館学叢書, V )

大阪府立図書館 参考事務必携 同館, 昭和 46.

日本図書館協会公共図書館部会参考事務分科会 参考事務規程解説 昭和37

## 参 考 業 務

木寺清一 図書館奉仕 日本図書館協会，昭和 25.

木寺清一 図書館資料概説 明治書院，昭和 45.

參考業務

木寺清一著



## 著 者 略 歴

木 寺 清 一 (Seichi Kitera) 1908年生

大阪市立大、関西大学、京都大学、上海自然科学研究所、大阪大学、  
大阪府立、の各図書館、国立図書館短期大学教授を経て、現在、常磐  
学園短期大学教授

著 書—図書館経営実務入門（京都出版）、簡易図書記号法（綜文館）、  
図書館奉仕（日本図書館協会）、図書整理法（蘭書房）、レフ  
ァレンス手引（日本図書館研究会）、本の歴史と使い方（内  
田老鶴園）、図書整理法 改訂版（青山書店）、洋書目録法概  
説（明治書院）、図書館資料概説（明治書院）、洋書事典（明  
治書院）、図書整理法 新訂版（学校図書）  
翻 訳—世界を変えた本（ダウンス著、荒地出版）

## 最新図書館学シリーズ

### 参 考 業 務

¥ 1,600

昭和 47 年 7 月 1 日 初版発行  
昭和 50 年 7 月 1 日 第2刷発行  
昭和 53 年 4 月 1 日 第3刷発行

著者との申  
し合わせに  
よって検印  
を略します

© 著 者 木 寺 清 一

発 行 者 峰 岸 辰 三

印 刷 所 株式会社昭和工業写真印刷所

発 行 所 学校図書株式会社

東京都品川区北品川一丁目1番14号  
郵便番号 140番  
電話東京 (03)472局2811代  
振替口座 東京8—72415番

3300-360053-1038

# 参 考 業 務

*Reference / Information Service* 概説

木 寺 清 一 著

---

最新図書館学シリーズ

---

東 京  
学 校 図 書 株 式 会 社  
1972

## 序

今日人が人に向かって述べ、語るに際しては、確乎たる典拠に基づき、あるいは数字または図表等をもってこれを数量的に示すのでなければ、その信憑性をかち得ない。まして文章をもって、論文、報告、著書等にする場合はなおさらである。そしてそのことは、学問のことに携わる人たちばかりではなく、市井の一般人にとっても同様である。

およそ好まれるはずの“本”を収集・整理・保存して、これを貸し与えることのみに終始した“図書館”の存在は、徐々に過去のものになりつつある。大学図書館における divisional plan、公共図書館における subject-departmentalization の出現は、その大勢をもの語るものであり、利用者の要求によりよく対応しようとする姿勢の現われである。すなわち reference/information service をより合理的に行なおうとする構えである。

この reference work または reference service を“参考事務”、ついで“参考業務”として、わが国で語られはじめたのはきわめて最近のことである。その発展もしたがってきわめて若い。図書館短期大学開設以来、著者はそこでの“レファレンス・ワーク”の講義とその演習を担当してきたが、本書はその大綱を文章にしたまでのことである。講義は英文のプリントに基づいて行なってきた。本書中にもそのプリントの大半をとり入れた。このことについては、わが国におけるよりもはるかに先輩である諸外国の専門家の言説と経験は進んで取り入れるべきであると考えたからである。

しかし、諸外国においてだけでなく、わが国にあって、図書館学、あるいはその業務の全般は、ことに近年急速に進展しつつある。その進展に立ち向かうために、現時点における、そして今日までの進歩の実状につい

ての認識は必要であろう。その点で本書が幾分でも役立ち得れば幸いである。付録に著者の旧著“レファレンス手引”の一部を収録したのもその意味においてである。

1972年4月

著 者

# 目 次

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 序 .....                             | v  |
| 凡 例 .....                           | ix |
| 参考書目 .....                          | xi |
| I 総 説 .....                         | 15 |
| 1. 輪 郭 .....                        | 15 |
| 2. 仕事の範囲と量 .....                    | 16 |
| 3. 体制と係り員 .....                     | 18 |
| 4. Toolsとしての資料 .....                | 20 |
| 5. 相互協力 .....                       | 22 |
| II 仕事の内容 .....                      | 25 |
| 1. インフォメーション(情報)の提供 .....           | 25 |
| 2. 調査・研究への援助・協力 .....               | 26 |
| 3. 案内・指導・相談 .....                   | 27 |
| 4. 書誌作成 .....                       | 29 |
| 5. 管理・運営 .....                      | 30 |
| 6. Shores および ALA の Checklist ..... | 30 |
| III 定義とその解釈 .....                   | 35 |
| 1. 定義と歴史 .....                      | 35 |
| 2. 定 義 .....                        | 36 |
| 3. 定義の解釈 .....                      | 39 |